

広報 ふじかわ

1 月 号

昭和49年1月1日発行

No. 158

町 の メ モ

人 口	48,121	15,849人
増減	先月より	+10人
男		7,856人
女		7,993人
世帯数		3,754世帯
面 積		31.09km ²

富士川町 企画課



人間らしさに向って走ろう！

冬の陽ざしを浴びて、幼稚園の裸マラソン。この子らこそ、太陽そのもの。

「……訓練ではありませんよ。まだ、体ができていないから。冬は厚着になるので服の中へっ何か〃が包みこまれてしまうでしょ。子どもの中の太陽みたいなものが、冬は服を着るのが当たり前、という観念を引っ剝がしているのです。」と園長の渡辺光枝先生はキレイに笑っていた。

本当だ。教育というものが本来もっているきびしい姿勢を、大人の社会は、どこかへ落してきたのかもしれない。

自己教育、自己改革、このことばを、今年ほど深く考えさせられる年はないだろう。

一九七四年。アラブの石油戦略はどうなるのか。モノ不足と物価は？、誰も答えをもっていない。ただ、今までのような、人と人が遠ざかっていく関係では幸せになれないことが解っているだけだ。

これからの町づくりの行政の責任は重い。そしてまた、住民の大人としての責任も軽いものではない。

町民一人一人を大切に する町づくりを

年頭にあたり 中川町長語る



中川国兵町長

昭和四十九年甲寅の新春を迎え皆様と共に祖国日本の興隆と、富士川町の発展および町民各位のご健勝をお祈りいたします。

昨年は、町民憲章の実行目標「ありがとうをいませう」を掲げて、感謝に満ちた町づくりを目指し発足。当初予算も一般会計七億三千七百六十万円をもって、福祉行政を重点に町政を運営して参りました。

老人福祉対策として建設した老人いこいの家は「小車荘」、温水溜池は「みりのりが池」と命名して八月にオープン。第一中学校の四階建鉄筋校舎も竣工、整備された環境の中で極めて効果的な学習が行なわれています。

道路整備については、県道富士宮山比線も開通。農道、都市計画

街路をはじめ下水道、住宅建設も着を進めてきました。

特に、ゴミ焼却の問題については、用地確保に支障を来たしたため、応急的に町独自の方策を立てて焼却場、焼却設備を整え急場の打解につとめています。

昭和四十九年は、石油産油国の供給消滅によるエネルギー危機。これに、インフレ傾向もからんで生産優先から人間尊重、消費抑制への転換が要求される時代となっております。

この危機を乗り切るためには、町としても町財政の現況を踏まえ、健全財政の堅持に努力する覚悟です。

社会情勢の変転極まりない中において、町の将来を展望した基本構想を策定するために、町民の意見を取り入れた新しい時代対応の計画。また、富士川富沢線バイパスの建設も一層地域住民の方々のご協力を願って、数年に亘る困難な交通事情の緩和を計りたいと思っております。

北松野ゴルフ場計画には、災害防止に万全を期することは勿論、埋蔵文化財の早期発掘調査、および「はたご池」を中心とする地域を青少年センターとして確保することを施設者との間に契約しています。

松野地区の広域に埋蔵する豊富な山砂利採取については、乱開発

町民のみなさん明けまして

おめでとございます



太田義雄議長

昭和四十九年の元旦を迎え、皆さまとともに新年をことほぎ、あわせて富士川町の繁栄をお祝いいたしますことはご同慶にたえないところであります。

のもたらす災害を防止するため嚴重な処置を業者に要求しています。第二中学校、中央公民館の建設については、将来に備えて理想的な用地を求める案も考えられますので、財政状況をも勘案して急きよ決定したい考えです。

要するに、生産拡充によって急激な発展を遂げた時代から人間性の快復、福祉に重点をおく時代に代わろうとしている今日、私は、この時代観に立って町政の方向を確立し、町民一人一人を大切にすることを施設者との間に契約していい覚悟です。

年頭に当たり、ここに所懐の一端を申し述べて挨拶いたします

るとおり、日本の政治経済の情勢は、あの中東戦争以来アラブ諸国の石油政策により、まさに七十年代の激動の渦中に巻き込まれ、消費物価の高騰は私たちの生活をおびやかしております。この粉争が一日も早く納まることを願うと共に、国政による適切な物価安定対策を強く要望するものであります。これらの国内外の情勢は地方行政の面に大きな影響を与えており、県、町の行方事業の入札においても物価高、資材不足等により不調となるものも現われております。また、国の施策としての総需要の抑制は公共事業の縮小、事業内容撰択による補助金起債の繰り延べ、抑制の措置がとられておりこの方針は昭和四十九年度町予算にも一層のきびしさを加わへてくるものと考えます。

議会に於いてもこれらの諸情勢をふまえて、町当局と綿密な連絡をとり、町民の皆さまからの諸要望を如何に実現させていくか、全議員が一致協力これに対処してまいりたいと存じます。なにとぞ町民皆さまにおかれましては、従来に変らないご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当り町民みなさまのご健康ご幸福をお祈りしてご挨拶いたします。

盲人に愛の手を

ライオンズクラブ アイバンク運動推進

心の窓といわれ、眼の窓硝子にあたる黒目の表面の透明な膜「角膜」が病氣やケガで濁って失明した人たちに、自分の死後、角膜を提供しようという、アイバンク 献眼登録運動について蒲原ライオンズクラブ(奥村会長)は、十二月十二日、蒲原文化センターで例会を開き推進することを決めました。

当日は、会員五十人の出席のもと、まず百二十本の洋がさを郡内四駅に三十本づつ贈呈したのち、アイバンク運動の権威者である市川健三講師を招き、運動の主旨に耳を傾けました。



各駅長に洋がさを贈る奥村会長

わが国には、二万人の人たちが角膜移植によらなければ視力が回復しない患者だといわれています。しかし、献眼の登録者は僅か五万人弱と少なく、その大半は若い人達で、実際に提供を受けられるのは遠い将来のことです。このため、大勢の人たちの献眼登録が要求されています。この不幸な人達を救うため、献眼登録してください。蒲原ライオンズクラブ事務局 TEL 05438(5)12664か、読売光と愛の事業団 TEL 東京242-1111に詳しいことを問合せください。

同クラブは、十周年を記念して会員自らが、献眼登録に奉仕して郡内全域に運動を推進することを今年の目標の一つに掲げています

心身障害児 教育推進地区の指定うける

庵原三町は、昭和四十八年度から二カ年にわたり、標題のような指定を県の教育委員会から受けました。

中部地区では、今までに菊川町島田市が指定されていて、庵原三町は三回目になっています。今回の特色は、三町が合同で一地区として指定を受けたことです。

幸い郡内の小中学校、幼稚園の先生方で組織している郡教育協会が全面的にこれにとり組んでくださり、また、各町の教育委員会、福祉課、住民課をはじめ、三町各団体がそろって参画し、この教育推進にあたることは、まことに力強いかぎりです。

昨年九月に郡心身障害児教育推進協議会(北条周治会長)も行なわれ、四つの専門部(教育相談部学習指導部、進路指導部、啓発部)も活発に活動を始めています。

この世に生を受けた子どもの中には、相当数の障害児がいます。この子等のために(すべての子どもに生きがいを持たせる教育をめざして)、この協議会を中核に、地域ぐるみで過去の経験を生かしかく感心の薄れがちなこの教育

に総力をあげてとり組もうとしていきます。

さらに各町には、それぞれ推進委員会を設け、各町の実情を生かした独自の事業を計画。町民の理解と協力を得ながらこの教育の充実をはかることにしています。

各部の事業

教育相談部

適正な判別、就学指導。学校、家庭の教育相談。特別な教育的処置を必要とする児童生徒の実態調査。早期発見、早期教育に関すること。

学習指導部

特殊学級担当者の研修。心身障害児教育課程の編成。普通学級における心身障害児指導に関すること。

進路指導部

職場開拓と卒業後の動向実態調査。校外実習。適正就職と職場定着をはかるため、関係機関および雇用主側との協力に関すること。

啓発部

地域社会における心身障害児および、その教育に対する正しい認識の啓発に関すること。

65歳以上の老人は

無料で健康診査が受けられる
明治三十七年四月二日から明治四十一年四月一日までに生まれた老人は、一月五日から三十一日までの間、無料で町内の医師に治療を受けられます。

ただし、ねたきり老人は、すでに、昨年十月から医療費が無料になっています。

老人健康診査を受ける人は、診査票を病院の窓口へ提出して治療を受けてください。
毎月第三土曜日に

交通事故相談所開設

町は交通事故問題で困っている人々を対象に、月二回、交通相談所を開設して相談にこたえていましたが、一月から次のように月一回に変更になります

当町で一昨年に発生した交通事故は、百七十五件にもおよんでいて、これに関係する保険、損害賠償請求など、どのような方法で手続きすればよいか、知っている人は案外少ないように思います。

相談日 毎月第三土曜日
(午後二時～四時)

場所 老人福祉センター
相談員 氏原綾夫氏(元富士川派出所長)

▽幼、保育園募集△

中川国兵町長 藍綬褒章を受賞



祝中川国兵氏藍綬褒章

現富士川町長、中川国兵氏は、十月十七日、内閣総理大臣から藍綬褒章を受賞しました。

これは、同氏が地方自治行政にたずさわること実在五十年におよび、その間収入役六年、助職、歴代町長のよき補佐役として敏腕をふるい、昭和三十一年に町長に当選するや、今日まで町行政の第一線に立ち、町政の最高責任者として日夜住民の福祉と地方自治の育成に全生命を傾け、

今日の町発展に寄与しました。この功績を内閣総理大臣田中角栄氏が表彰したたものです。
町、町議会、国友会は、同氏の受賞をたたえ、十二月一日、第一小学校体育館に県議会議員、近隣町村長をはじめ、町各層の関係者三百人を集め、祝賀会を催し、同氏の功績を祝いました。
当町での藍綬褒章受賞者は、昭和三十七年に表彰された故望月隆策氏（元松野村長）をはじめ、昭和四十一年の野田力三氏（野田合板株式会社）、昭和四十三年の坪内佐吉氏（前消防団長）、昭和四十五年の斎藤頼夫氏（岩淵出身、全環衛理事長）につづいて、同氏が五人目の受賞者です。

昭和二十二年七月 富士川町助役に就任。
昭和二十九年七月 富士川町長に当選
以来三期連続当選して今日に至る。

大正十三年四月 富士川町尋常高等小学校高等科二年卒業後、町吏員として奉職。
昭和十六年六月 富士川町収入役に就任。
昭和二十二年七月 富士川町助役に就任。
昭和二十九年七月 富士川町長に当選
以来三期連続当選して今日に至る。

昭和十五年十二月 富士川町長より町賞

自治功労者として表彰される。
昭和二十四年三月 全国町村会長より自治功労者として表彰される。
昭和二十五年五月 富士川町長より町制施行五十周年にあたり、自治功労者として表彰される。
昭和四十一年七月 内閣総理大臣より藍綬褒章を授与される。
昭和四十四年五月 日本赤十字社より金色有功章を賜わる。
昭和四十五年六月 町制施行七十周年記念に際し、地方自治の功績により、富士川町議会の議決にもとずき感謝状を贈呈される。
昭和四十八年一月 全国町村会長より町村長三期以上在職による特別表彰される。
昭和四十八年十月 内閣総理大臣より多年助役、または町長として公共の福祉に奉仕し、地方自治の発展に貢献した功労により、藍綬褒章を賜った。
（この外、数多くの表彰を受けています。）

時間があれば勉強したい 社会教育アンケート結果

教育委員会は、町民の社会教育に対するアンケートを実施。その結果「変化の激しい時代に合せてそれなりの社会教育が必要である」ということがわかりました。
調査は、各部落二十代から五十代までの男女を無作為で抽出。十二項目について設問しました。
まず、変化の激しい時代にどんなことを感じるかの問いについて「自分なりに勉強しなくてはならないと思う」が回答者六十四人中五十五人と、ほとんどで、必要性を訴えています。

さらに「社会教育」という言葉が聞いている青年学級、成人学級、高齢者学級などは大半が知っている。
「法律がかわり、家庭にも消火器を置かないと罰せられることになりました」「お宅は二階で

石油ストーブは
自動消火装置付に

一般家庭で使われている石油ストーブ（液体燃料を使用する移動式暖房器具）は、昭和五十一年九月以降、自動消火装置付以外のものは使用できなくなり

ます。
新規に購入、あるいは買換えの際は、自動消火装置付のもの

を購入してください。
（庵原地区消防本部）

備えあれば憂なし

火災による被害は毎年増えつづき、わが国のどこかで九分ごとに火災が起き、毎日三十一人の死傷者をだして、二億三千万円の財産を灰にしています。
防火の備えは、火を出してからでは遅いのです。

家庭に、職場に、必ず消火器を設置したいものです。いざという時にいつでも使えるようにしておくことが大切です。
悪質な訪問販売に注意！
最近、訪問販売で強引に家庭に入りこみ、消火器を売りつける悪質販売員が増えています。その手口は、言葉巧みな口実を使っています。

「法律がかわり、家庭にも消火器を置かないと罰せられることになりました」「お宅は二階で

中野区画整理組合

準備委員会が発足

日軽開発が宅地造成する松野地区中野台地については、先月号でお知らせしたとおりですが、その東側約八万八千平方メートルの土地利用については、このほど土地測量図道路の基本構想も決まり、昨年十二月、土地所有者による「中野土地地区画整理組合設立準備委員会」を結成。区画整理することになりました。この委員会は、四十八年度中に土地地区画整理法に基づき、組合設立認可申請を県知事に提出するため創られたものです。

順調に手続が進められますと四十九年度に組合が誕生し、同地区の新しい区画づくりが始まります。この計画の詳細は、県知事の認可をまって発表します。準備委員は次の人たちです。

- 委員長 石川 均
- 副委員長 高岡太郎 二又川海造
- 会 計 清 市郎
- 監 事 森本豊四郎 深沢 勲
- 委 員 望月準次 小池平市
- 宇佐美義明 宇佐美松雄 田ノ下幸雄 朝比奈輝吉 大島民雄 渡辺勉 深沢勲(兼務)

小池区画整理が完了

小池土地地区画整理組合(土橋幸作組合長)は、同区画整理事業を昭和四十五年組合員三十七人で発足。それから三年余カ月の歳月と、約六千万円の事業費を費して進めてきましたが、昨年十二月で約四万六千平方メートルの同事業が完了しました。

また、新しく区画割りした土地の登記。道路、水道、公園用地なども県、および町の管理引継ぎなど法律で定められている一切の業務

を完了したので、今月中に組合を解散することになりました。

男声〃きてネ

二十数人の美しい女性から、ぜひ、と望まれているモテモテの男性、それはあなかもしれない。その男性の資格は、毎週土曜日ヨル七時から、第一幼稚園で行われている文協コーラス部に参加することです。

文協コーラス部(代表根上純子さん)は、昨年二月から蒲原西小の佐野利貞先生(南松野)の本格的なきびしい指導を受けるようになって約一年、その進歩はすばらしく、どうしても男性部が必要になってきました。

富士川町に合唱団が生まれるチャンスです。歌に心を寄せる人たちの奮起を望みます。(連絡先⑧11929 根上純子)

富士川短歌会 ▲ 十二月 詠草

天野 寛選

荻野敏音

山あいを吹く木枯のひびきつつ舞い上る落葉しばしきらめく

長橋安子

あさがほの種を訣れに贈りしが今ブラジルに咲きぬるとき

長谷川ゆり子

夫を弔う友おもい居れば雨来り朝雷の遠く聞ゆる

吉田令子

終日を針持つ吾のかたわらにラジオは告ぐ北国の冬

植松法子

捨てられしコーヒーかすのうずたかく雨やみし烟に香りたつなり

塩川恒子

部屋内に煙くゆらせ母の背に温灸すえて一日終えたり

桐谷静子

がんと病み声失いし君なれど口ごもりつつ我に問わんとす

植松秀子

いくばくのわが血も交る献血車師走の町の角曲りゆく

田村タカ

庭隅に落葉焼きいる我が姑は八十五の春を迎えんとす

入月弘子

群雀とび立ちたればもみがらの両手にあまると兄は嘆きぬ

すから二階に一本、階下に一本台所に一本と計三本必要です」

「消防署(消防団)の推奨品です、ないのはお宅だけです」などとウソを言って売りつけます

現在、消防署(員)が消防器の販売をすることはありませんまた、家庭に消防器が設置されることは大変好ましいことですが、消防法令上の設置義務はありません。

販売員がウソをついたり、押し売など、不審な点がありましたらどしどし消防署に相談されるか、警察に知らせてください(庵原地区消防本部)

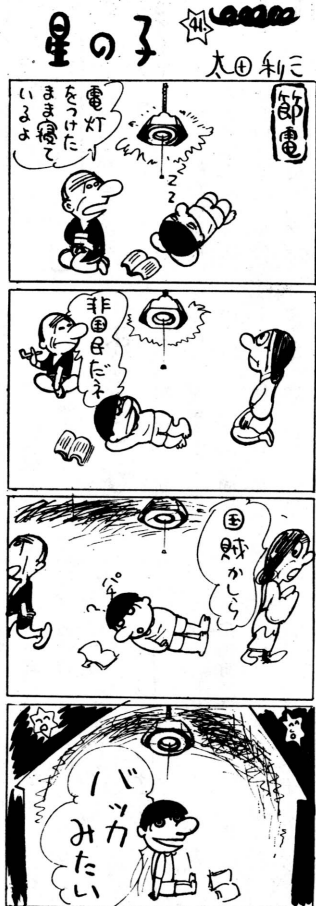
消火器は定期的な点検、検査が必要です。五年後の精密検査で異常がなければさらに有効です。

富士見台分譲地の公募

県は、富士見台個人住宅地の分譲を次のように募集しています。

- 所在地 富士市富士見台
- 分譲区画数 六十区画
- 申込資格 住所または勤務先が県内にある者など。
- 申込受付 四十九年一月二十一日～一月二十五日

詳しいことは、静岡県企業局用地課へ問合せください。TEL静岡21-2172



戸籍の窓

48・11・20～12・19 (敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
相生町	齋藤まどか正美	長女
旭町	齋藤基明 基次	長男
堺町	小永井保貴健一	〃
四十九	小林英樹 弘幸	〃
宮町	細野久美子利弘	長女
幸町	山崎功亮 洋輝	長男
東町一	深沢章展 義市	〃
〃	高城俊一 泰	〃
〃	柳沢美奈子和雄	長女
東町二	高岡玲子 三郎	〃
〃	若月彩子 龍仁	二女
〃	望月信明 由晴	長男
〃	安田真弓 善彦	二女

よろこび

区名	新 郎	新 婦	旧 姓
木島	平田有史	匡江	溝口
舟山町	植松雅明	園子	植松
上町	梅崎 勝	千枝子山口	〃
相生町	滝 富雄	和子 中田	〃
〃	水野勝照	富士子杉山	〃
川坂	大村謙次	千恵子菊地	〃
四十九	大村 勇	京子 金子	〃
宮町	若月孝夫	道子 佐藤	〃
〃	渡辺頌久	陽子 小野	〃
小池	三浦忠則	やす子丹羽	〃
幸町	山田武典	浩子 高橋	〃
〃	山梨 實	律子 伏見	〃
〃	増井清二	かつみ齋藤	〃
〃	井上泰伸	久代 堀江	〃

おしあわせに

区名	氏 名	転 出 先
舟山町	望月八重子	蒲原町
旭町	齋藤なおみ	清水市
宮町	浦田ひで子	沼津市
小池	佐塚博子	富士市
幸町	中川光世	愛知県
本通一	尾崎静代	富士市
東町二	植松恭子	〃
〃	加藤育代	〃
富士見町	望月みづ子	清水市
大北町	吉田悦子	富士市

かなしみ

区名	氏 名	年 齢
東町二	田中寿彦	香代子桜田
八幡町	杉谷哲夫	峯子 三枝
清水町	小池一義	美好 後藤
樋下町	岩佐俊克	幸江宇佐美

1月の行事予定

1日	元旦	火
4日	官庁仕事始め	金
6日	三町連合出初式	日
午前9:30～由比中		
7日	七草	月
8日	短歌(まきの木、ふよう)	火
午後1～センター		
9日	手芸(ふよう)	水
午後1～センター		
10日	詩吟(まきの木)	木
午後1～センター		
11日	盆栽(まきの木)	金
午後1～センター		
15日	茶道(ふよう)	火
午後1～センター		
16日	成人式	水
午前9～小体育館		
18日	三種混合	金
午後1:30～センター		
19日	生花(まきの木)	土
午後1:30～センター		
22日	三種混合	火
午後1:30～センター		
23日	交通安全相談	水
午後2～センター		
25日	人権総合相談	金
午前9:30～センター		
27日	民協定例会	日
午後1～センター		
29日	舞踊(まきの木)	火
午後1～センター		
30日	フラワーデザイン	水
(まきの木・ふよう)		
午後1～センター		
31日	三種混合	木
午後1:30～センター		
1月1日	家庭教育学級	金
午前9～センター		
1月2日	三種混合	土
午後1:30～センター		
1月3日	映画大会	日
午前9:30～児童館		
1月4日	まきの木教室	月
午前9～センター		
1月5日	畜犬指導	火
不用犬の回収および放り		
1月6日	し飼いの取締り	水
午前10～町内		
1月7日	墨絵(ふよう)	木
午後1～センター		
(第4期分町・県民税は1月31日までに納めてください)		
(飲酒・暴走運転は絶対しないようにしよう)		

体育館だより

あけましておめでとございます。今年も、町民の皆さんの体力づくりの場として、町立体育館をご利用ください。

■日曜日は各区の球技大会、レクリエーションに優先的に貸出します。ご利用ください。

■町立体育館の使用申込みは、翌月分を毎月二十五日まで受付していますので、早めに教育委員会へどうぞ!!

■一月のスポーツ行事
一月十五日、祝成人駅伝が成人式終了後行なわれます。

教育委員会 TEL 011-003

ガケ地近接住宅は 移転補助金がでます

ガケに近接している住宅の災害を防止するため、国、県、市町村は、移転者に対して「ガケ地近接危険住宅移転事業補助金制度」を行なっています。

この対象となる住宅は、県砂防課の調査によると、町内に三カ所八十戸あります。

同事業は、ガケ地の崩壊などによる危険から住民の生命と安全を守るため、ガケの上、または下にある住宅の移転を、国、県、市町村が補助金を出して促進させようとする目的で発足しています。

危険住宅の取りこわし、または曳移転に対して最高二十万円まで。安全な場所へ新築したり購入して移転した場合は、最高百万円まで交付されます。

心配ごとには気がるに 総合相談所を ご利用ください

- ・ 1月22日(火) 9時半～3時
- ・ 老人福祉センター